

2008 年 5 月 1 2 日発行

1.朝元気で出て行ったのに……

44 歳男性会社員 A 氏。朝、小学生の子供と妻に見送られ、いつもの様に家を出た。会社に着いて間もなく、みぞおちが締めつけられるように痛くなり、息苦しく、冷や汗が出てきたため、すぐに救急車を呼んだ。救急隊到着直後、気を失ったが、救急隊による電気ショックで回復し、某病院の救命救急センターに搬送された。急性心筋梗塞と診断され、緊急で心臓の動脈（冠動脈）の造影検査を受けた結果、左冠動脈の付け根に近い所に血栓ができてつまっていたため、血栓を吸引した上で、さらにステントという金属でできた細長い網状のものを冠動脈に留置する治療を受けた。その後数日間集中治療室で治療を受けた。治療が成功し、心筋梗塞は軽めですんだ。その後、一般病棟に移り、リハビリを行って、18 日後に元気に退院した。再発予防のために運動が必要であると指導され、退院後もリハビリに通院している。近いうちに復職する予定である……。

A 氏は、最近腹が出てきたことを実感していた。健康診断では、血圧が少し高い、中性脂肪も少し高い、糖尿病の気がある、などと指摘されていたが、それぞれ軽度であり気に止めず、タバコも毎日 20 本ほど吸っていた。まさか、この年で、危うく妻子を残してあの世に行きそうになるとは、思いもよらなかった。

2.心臓病は日本人の死因の第 2 位

上に述べた話は、実際の話ではありませんが、最近これに近いような症例は時々あります。心筋梗塞に伴う重症不整脈は突然死につながります。重症の急性心筋梗塞の場合は、心臓のポンプとしての力が落ちて急性心不全になり、命にかかわります。助かっても心不全や不整脈などの後遺症に苦しまれる方もたくさんみえます。心筋梗塞や狭心症は、冠危険因子（高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙、心臓病の家族歴など）がある場合は若くして発症する場合があります。食生活の欧米化に伴い、日本でも心筋梗塞などの心臓病による死亡率が増加しており、悪性新生物（がん）について、心臓病は日本人の死因の第 2 位になっております。

3.診断・治療の進歩著しい

問診・診察のほか、心電図、血液、胸部レントゲン、運動負荷心電図（トレッドミル検査など）、ホルター心電図（24 時間心電図検査）、心臓超音波（心エコー）、心臓アイソトープ、心臓冠動脈 CT（64 列マルチスライス CT）、心臓カテーテル検査（冠動脈造影、左心室造影など）などの種々の検査があります。患者さんの状態（狭心症の疑い、安定した狭心症、過去の心筋梗塞、心筋梗塞になるおそれのある不安定狭心症、急性心筋梗塞な

ど)によってこれらの検査を組み合わせで診断します。最新の検査は心臓冠動脈 CT 検査で、外来でも冠動脈狭窄の有無が大体わかります。これらの検査の中には、緊急検査には向かない検査もあり、また患者さんの状態によっては困難な検査もあるため、私たちはこれらの検査の長所・短所を考えて適切な検査を行い、常に正しい診断をめざしております。

狭心症や心筋梗塞の最近の治療は、カテーテルという細い管を手首や太腿の付け根の動脈から冠動脈まで挿入し、狭くなった所や詰まった所を小さな道具を使用して拡張して、さらにステントを留置する方法が主体になっております。再狭窄を防ぐために特殊な薬剤が溶け出してくるように工夫された特殊なステントもあります。重症の場合は心臓血管外科で冠動脈バイパス手術を行います。最近では、可能な症例には、人工心肺をできるだけ使わない患者さんに負担の少ない手術が施行されるようになっております。

4. 予防が大切

治療が進歩したといっても、病気になってしまえば、やはり大変です。いうまでもなく、入院となれば、家族や職場に大きな迷惑や負担をかけることになり、重症であれば命にかかります。高額な医療費は国家財政や家計を圧迫します(ステント 1 個で約 26~38 万円) 退院後も種々の内服治療を継続する必要があります、一生医療費がかかります。

何よりも大切なのは、予防です。危険なのは、高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙、心臓病の家族歴など、冠危険因子のある方だけではありません。上にあげた A 氏は、メタボリックシンドローム(最近では、マスコミでメタボといわれています)でした。健診で軽度の異常しか指摘されていなくても、異常が重なっている場合は危険度が高くなります。食生活に注意し、適度な運動を行う必要があります。今年度からはじまる特定健診の目的もメタボ対策をしっかりと行い、将来の病気を予防するためです。

5. 愛する人を心筋梗塞で失わないために、一緒に考えましょう

狭心症や心筋梗塞についてよく知っていただくために、今回を含めて 5 回の連載を行います。また、下記のように、エキサイ健康教室(地域の住民の方々向け。病院職員も自由参加)を行います。是非ご参加下さい。

次回 第2回 心臓CT・アイソトープ検査 放射線部 川口範洋技師

2008年5月26日配付予定

この内容は、名古屋掖済会病院ホームページでもご覧頂けます。
<http://nagoya-ekisaikaihosp.jp/>

エキサイカイ

検索

エキサイ健康教室

狭心症・心筋梗塞—その診断・治療と予防—

循環器科部長 祖父江俊和先生

5月29日(木) 14:00~15:30頃 救命センター4階講堂